

# 段ボールの可能性に挑戦。



「お客様、お取引様、社員の満足いただける真の豊かさの提供」を理念とする、段ボールを柱にした総合包装企業です。太陽光発電、リボードなど、将来を見つめた活動に積極的に取り組んでいます。



代表取締役社長  
安藝 慎二

工夫次第で  
用途が広がる  
ことに感心

## Q 段ボールの需要は伸びていますか？

残念ながら四国での需要は減少傾向です。一方で、新しい需要も生まれています。従来木製であった物流の土台・パレットを段ボールで作ったところ、使用後の処理が容易、海外輸出の登録が簡単などの理由で、とても喜ばれています。軽くて強度のある新

素材「リボード」も、展示会のブース設営に使いやすいと、注目を集めています。



## Q 取引先は四国がメインですか？

良い製品とサービスなら全国で…と考えると思いますが、段ボールはかさばるため、運送コストがかかります。どうしても地域の需要がメインになります。全国から注文を受けるためには、独自の商品が必要で、軽くて火に強い新素材「リボード」は、その可能性を持っています。若い世代の発想で、うまく活用してほしいですね。



## Q 太陽光発電にも力を入れる理由は？

利益を生むために企業活動を行っています。将来のために何が出来るかということも同じように大切に考えています。太陽光発電は利益よりも、これからの世代のことを考えての活動です。環境のために、できるかぎり、協力をしていきたいと考えています。



デザインソフト  
で名刺づくり  
に挑戦！



## Q 今まで一番苦労した製品は何ですか？

製品ではありませんが、徳島のイベントのために製作した段ボール製の船には苦勞させられました。ただ、浮かぶだけなら簡単ですが、実際に人が乗れる船を作ってほしいとの依頼だったので、その点が難しかったですね。試行錯誤の結果、無事、子どもたちを乗せて、ひょうたん島を1周できました。

複雑な形状も  
自動でカット  
できます



箭崎専務取締役

### REPORT

## 大成段ボール株式会社

香川県東かがわ市湊1945  
TEL:0879-25-1155  
FAX:0879-24-1316  
設立:昭和37年7月19日  
資本金:3,000万円  
売上高:12億  
従業員数:50名



<http://www.taisei-dan.com/>

初めて段ボールが作られる過程を見て、手作業の多さに驚きました。大成段ボールさんは、目先の利益だけでなく、長期のスパンで会社のことを考えており、素晴らしいと感じました。新素材リボードの事業展開にも期待したいです。

香川大学経済学部  
2年 遠藤さん

